

## ④鹿児島市立病院再整備実施設計の完了について

市立病院では、令和9年度の増築棟供用開始及び11年度の既存棟改修完了に向けて取組みを進めておりますが、このたび病院再整備の実実施設計がまとまりました。



電車通り側から見たイメージ

### 1. 建築概要

#### (1) 増築棟

	内容
病床数	(3階) ICU (集中治療室) 20床 (4階) MFICU (母体・胎児集中治療室) 3床 (5階) 一般病棟 34床 / 感染症病棟 6床
建築面積	1,926.58 m <sup>2</sup>
延べ面積	10,088.83 m <sup>2</sup>
階数	地上6階建
構造	鉄骨造 (コンクリート充填鋼管柱) 連結免震構造

#### (2) 既存棟 (改修部分)

	内容
主な改修対象	(1階) 入退院支援センター 救命救急センター (2階) がんセンター 生理検査室 (3階) 手術室、医局 (4~8階) カンファレンス室 休憩室 等
	改修面積 約 5,000 m <sup>2</sup>

### 2. 工事費

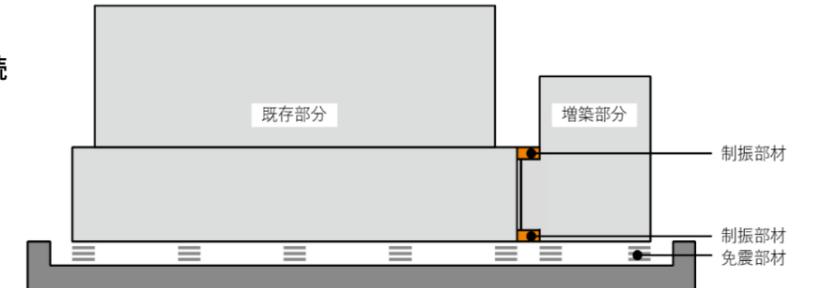
建設資材費の高騰等により、工事費が再整備計画時から大幅に増加しているが、診療機能向上等を確保しながら、可能な限り工事費の抑制に努める。

	工事費
既存設備移設等工事	約 2.8 億円
増築棟建築工事	約 81.0 億円
既存棟改修工事	約 13.8 億円
再整備合計	約 97.6 億円

### 3. 再整備の基本方針と主な特徴

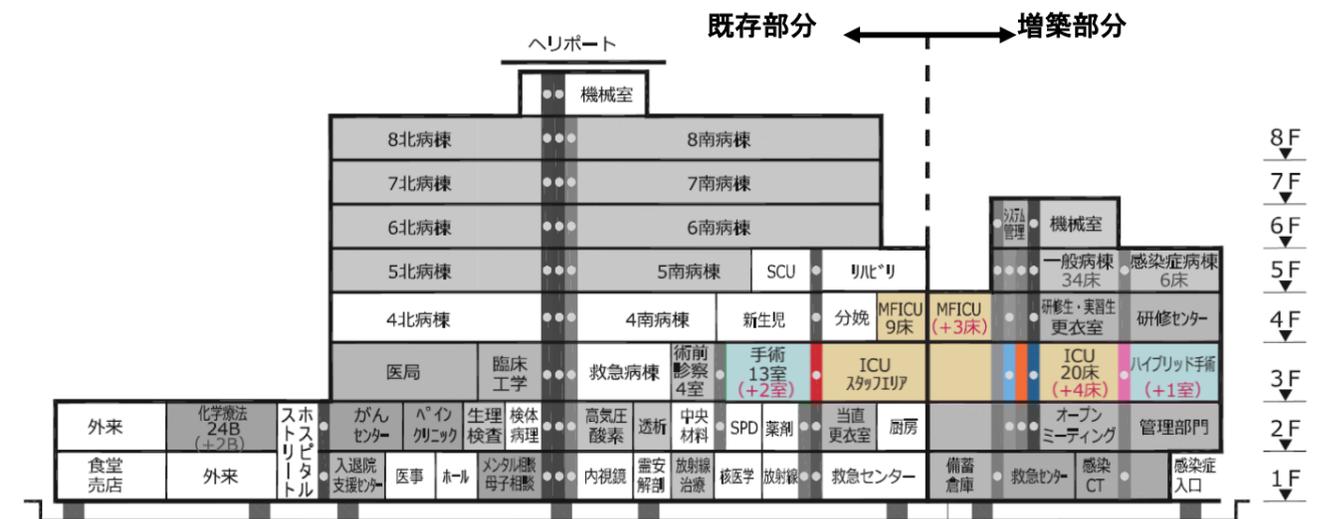
#### (1) 「連結免震構造」による「高い耐震性を確保」

- ① 既存と同じ基礎免震構造とした上で、増築と既存部分を制振ダンパーで接続させる「連結免震構造」を採用。
- ② 「連結免震構造」の採用により、建物間隔を小さく (15cm程度) し、敷地を有効に活用。



#### (2) 増築と既存部分の平面融合で「医療機能の更なる向上」

#### 増築棟 3階 (手術室・ICU) / 4階 (MFICU)



#### 【手術室・ICU】

- ① 手術室は3室増室。増築部分の手術室はハイブリッド手術仕様とし、より高度な手術に対応可能。(※1)
- ② ICUは4床増床。スタッフステーションを中心とした病室を配置し、患者観察の行きやすさが向上。

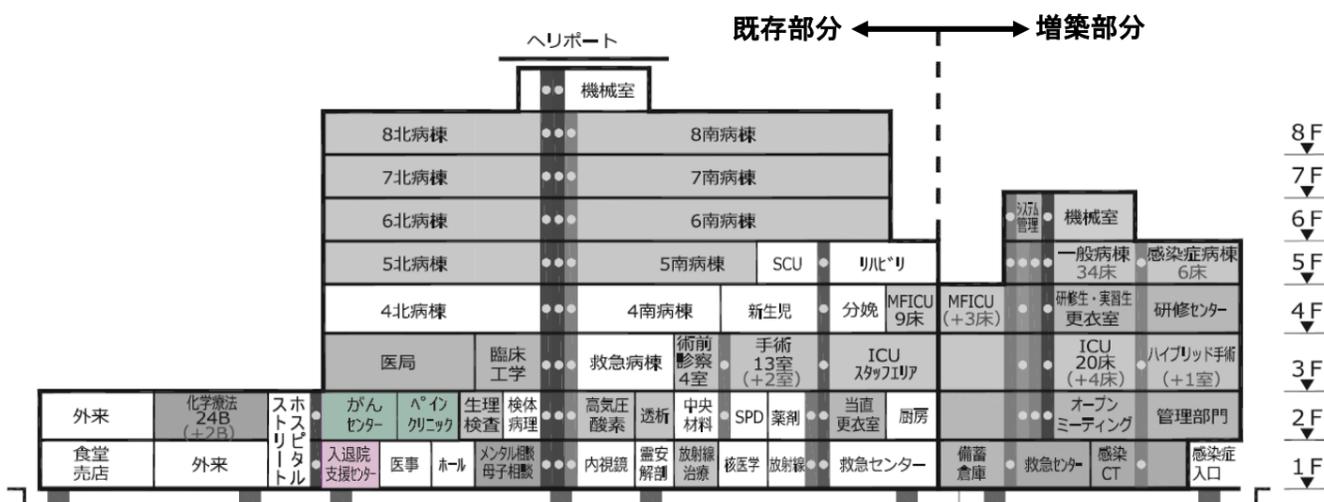
#### 【MFICU】

- ③ 今後も需要が見込まれるMFICUは3床増床。スタッフステーションを中心に既存部分も含め見通しの良い直線廊下に全病室を配置し、観察性を高め、対応の迅速性が向上。



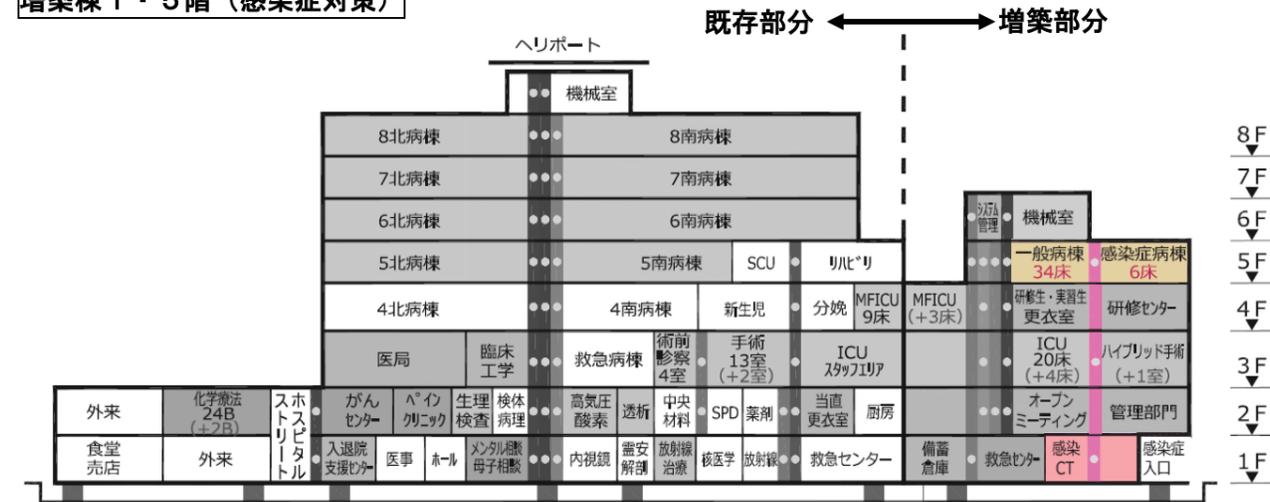
※1: ハイブリッド手術室のイメージ

既存棟 1階（入退院支援センター）／2階（がんセンター・ペインクリニック）



(3) 感染症拡大時は「一般病床を感染症病床に段階的に転換」

増築棟 1・5階（感染症対策）



- ① 増築棟の一般病床は、感染症の拡大状況に応じて段階的に感染症病床へ転換し、最大40床の運用。
- ② 院内感染対策として患者搬送動線は清潔区域と汚染区域を明確に分け、患者とスタッフの安全を確保。

【入退院支援センター】

- ① プライバシーに配慮した半個室ブースを整備し、20ブースへ増設。
- ② 診察室を併設し、1つのエリアで手続きが完了。



入退院支援センターのイメージ

【がんセンター・ペインクリニック】

- ① 分散されていた、がん相談室やスタッフ室などを集約。
- ② 待合機能だけでなく、がん患者向けのサロンや勉強会を行うためのロビーを整備。



がんセンター・ペインクリニックのイメージ

(4) スタッフの「働きやすい環境の創出」

- ① 食事、休憩、会議など、多目的に活用できる「オープンミーティングスペース」を増築棟の2～5階に創出。
- ② オンライン会議に対応した個室ブース、会議室を整備。



オープンミーティングスペースのイメージ

(5) 診療と改修工事の両立を図る「安心安全な施工計画」

- ① 既存部分の改修工事は複数ステップに分け、診療機能を確保しながら施工できる計画。
- ② 改修工事の作業動線とスタッフ動線は、できる限り交錯しないように配慮。

4. スケジュール（予定）

- 7月～ 既存設備移設等工事
- 12月 増築棟建築工事公告
- 7年 2月～ 増築棟建築工事
- 10年 3月 増築棟供用開始
- 3月～ 既存棟改修工事